



▲世界一に輝き、仲間たちと喜ぶ八木選手(写真前列左から3番目)



▲トロフィーを持つ仲間と記念撮影する八木選手(写真右側)

## 恩師が語る 八木選手

### ① 小学生時代 小さな頃から練習熱心



▲上林地区で指導していた森数正さん

小学2年生頃まで地区対抗の小学生ソフトボール大会の際に指導しており、練習熱心だった印象があります。世界一に輝いたと聞いたときは、「すごい選手になったな」と思い、小さな頃から知る選手が世界で活躍することは、指導者として大変嬉しいです。

### ② 小学生時代 主将としてチームを牽引



▲拝志スポーツ少年団で監督として指導した家弓誠也さん

当時からコントロールが良く、試合を組み立てられる投手でした。また、仲間の信頼も厚く、主将としてチームを引っ張ってくれました。世界一になったと知ったときは、とても嬉しかったです。選手として、更なる飛躍を期待しています。

### ③ 中学生時代 当時から感じていた可能性



重信中学校時代に顧問及びU15日本代表スタッフとしてかかわった橋本清先生

中学生の頃から感覚の良さが際立ち、将来が楽しみな選手でした。U15日本代表で携わっていただけに、今回の結果は感慨深いものがありました。培ってきた経験を力に、トップの日本代表で世界を目指して欲しいです。

### ④ 高校生時代 日本が成し遂げていない世界へ



▲県立松山工業高等学校時代に監督として指導した速藤大輔先生 ※現県立東温高等学校男子ソフトボール部監督

高校時代から全国トップレベルの力を持ち、体づくりやトレーニングに真摯に取り組む選手でした。教え子が世界一となり、誇りに思います。U18、U23で世界一となり、次はトップの日本代表で世界一を取る中心選手になって欲しいです。

## 東温市の子どもたちへ ~続けることが夢を叶える一歩に~

男子ソフトボールはプレーできる環境が限られていて、自分も途中で辞めていたかもしれません。それでも、続けてきたからこそ今があります。どんな形でも続けることが大切だと思います。トップでプレーしている選手は、みんな続けてきた人たちばかりです。みなさんも、夢に向かって頑張ってください！



# 八木 孔輝 選手



PICK UP  
ソフトボールで  
世界に挑む

## 東温市から 世界一に

## WBSC 第2回男子 U23 ワールドカップ優勝

上林出身の八木孔輝選手。小学5年生で本格的にソフトボールを始め、重信中学校、県立松山工業高等学校を経て、現在はトヨタ自動車(愛知)に所属。4月25日④から5月3日⑤までの9日間、コロンビアで開催されたWBSC第2回男子U23ワールドカップで、日本代表の一員として投打で活躍し、世界一に貢献した。

世界の頂点に立った今も、その視線は次の目標へ。ソフトボールとの出会いからワールドカップ、そして今後の目標について話を伺った。

ソフトボールを始めたきっかけを教えてください。

兄の影響もあって自然とソフトボールに興味を持ちました。小さい頃から野球やソフトボールが大好きで、友達と遊びながらボールを投げたりしていました。とにかく楽しかったですね。

ソフトボール人生で一番成長した時期はいつですか。

高校時代です。厳しいトレーニングの日々でしたが、一番成長できた時期でした。当時の経験が今の自分に繋がっています。

世界一になった瞬間の気持ちを教えてください。

世界一になったという実感はありませんでしたが、決勝のオーストラリア戦は最後まで接戦で、投手陣が粘り強く守り抜き、チーム全員でつかんだ勝利だったので、本当に嬉しかったです。

ワールドカップを振り返って、一番印象に残っている試合はありますか。

予選のアルゼンチン戦では、7回表ツーアウトから逆転負けをし、「もう負けられない」という状況になりました。そこから、チーム全体が吹っ切れ、その後の一戦一戦を集中して戦うことができました。

代表では、4番打者として活躍されましたが、自分の持っている武器を磨き、年齢制限の無いトップ代表に投手として選ばれることが目標です。

次回のWBSC男子ワールドカップでは、トップ代表がまだ成し遂げていない世界一を目指して挑戦していきたいです。